

## 第35回香川県環境審議会議事録

平成27年11月4日（水）

日 時	平成27年11月4日(水) 午後1時30分～午後3時10分		
場 所	県庁本館 12階 第1・第2会議室		
出席者	香川県環境審議会委員(16名)		
	委員	石川 恭子	高松リビング新聞社編集長
	委員	岡 静子	香川県公立小・中学校女性校長会会長
	委員	勝浦 敬子	NPOグリーンコンシューマー高松代表
	委員	金子 之史	香川大学名誉教授
	委員	木村 薫	香川県森林組合連合会代表理事会長
	委員	久米 川啓	香川県医師会会長
	委員	新見 治	香川大学教育学部教授
	委員	末廣 喜代一	香川大学名誉教授
	委員	須那 滋	元香川県立保健医療大学教授
	委員	多田 正彦	香川県漁業協同組合連合会常務理事
	委員	常川 真由美	環境省四国環境パートナーシップオフィス所長
	委員	寺林 優	香川大学工学部教授
	委員	中山 幸子	香川県薬剤師会副会長
	委員	増田 拓朗	香川大学名誉教授
	委員	山本 和雄	香川県公衆浴場場業生活衛生同業組合理事長
	委員	矢本 賢	日本野鳥の会香川県支部長
	事務局(27名)		
	環境森林部	部長	川田 浩司
		次長	大山 智
	環境政策課	課長	秋山 俊次
		副課長	豊島 貴子
		課長補佐	土居 義昌
		課長補佐	川田 昭子
		課長補佐	久保 雅紀雄
		副主幹	包末 雅昭
		副主幹	中條 耕二
		主任	河内 由香
		主任	森本 千尋
		主任	伊能 雄也

	環境管理課	課長	壺井 明彦
		副課長	中川 敏弘
	みどり整備課	課長	松下 芳樹
		副課長	下村 健次
		課長補佐	竹本 雅晴
		副主幹	佐々木 敬介
		主任	鴨川 美和子
	みどり保全課	課長	小川 剛
		課長補佐	高尾 勇一郎
	廃棄物対策課	課長	三好 謙一
		副課長	中 澄夫
		課長補佐	池田 浩史
		課長補佐	新名 英明
	薬務感染症対策課	副課長	井上 喜美子
		主任技師	伊藤 考晃
欠席委員	委員	大西 秀人	香川県市長会会長
	委員	栗田 隆義	香川県町村会会長
	委員	白井 章江	元NPOどんぐりネットワーク事務局長
	委員	末永 慶寛	香川大学工学部教授
	委員	妹尾 理子	香川大学教育学部教授
	委員	辻岡 宗晴	香川県猟友会代表理事
	委員	中村 明美	香川県各種女性団体協議会会長
	委員	原 直行	香川大学経済学部長
	委員	松本 タミ	弁護士
	委員	三野 八重子	香川県PTA連絡協議会事務局長
	委員	三原 典子	J A香川県女性部部長
	委員	吉田 英子	香川県商工会議所女性会連合会副会長

議 題	<p>(1) 計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県環境基本計画</li> <li>・香川県地球温暖化対策推進計画</li> <li>・香川県廃棄物処理計画</li> <li>・香川県みどりの基本計画</li> </ul> <p>(2) 各部会における審議状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境部会</li> <li>・自然環境部会</li> <li>・温泉部会</li> </ul>
配付資料	<p>(1) 第35回香川県環境審議会会議次第</p> <p>(2) 第35回香川県環境審議会座席表</p> <p>(3) 第35回香川県環境審議会出席者名簿</p> <p>(4) 香川県環境審議会委員名簿</p> <p>(5) 資料1 香川県環境基本計画（案）</p> <p>(6) 資料2 香川県地球温暖化対策推進計画（案）</p> <p>(7) 資料3 香川県廃棄物処理計画（案）</p> <p>(8) 資料4 香川県みどりの基本計画（案）</p> <p>(9) 資料5 各部会における審議状況について</p>
会 議 録 署名委員	<p>常川 真由美 委員</p> <p>寺林 優 委員</p>
議事の概要	<p>議題(1)について</p> <p>「香川県環境基本計画」、「香川県地球温暖化対策推進計画」、「香川県廃棄物処理計画」及び「香川県みどりの基本計画」の次期計画の策定について、審議会として異議のない旨、取りまとめた。</p> <p>議題(2)について</p> <p>「第34回環境審議会以降に開催された部会の開催及び会長が同意した部会の決議について、「生活環境部会」、「自然環境部会」及び「温泉部会」より報告した。</p>

第35回 香川県環境審議会 議事概要

<p>司会 (豊島副課長)</p>	<p>お待たせいたしました。ただ今から、第35回香川県環境審議会を開催させていただきます。</p>
	<p>開会に当たりまして、川田環境森林部長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>川田部長</p>	<p>(部長あいさつ)</p>
<p>司会 (豊島副課長)</p>	<p>引き続きまして、増田会長から御挨拶をいただきたいと存じます。</p>
<p>増田会長</p>	<p>(会長あいさつ)</p>
<p>司会 (豊島副課長)</p>	<p>それでは、申し遅れましたが、私は、環境政策課の豊島と申します。          本日の会議の進行をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず、委員の皆様方に審議会委員について御報告がございます。          お配りしております委員名簿を御覧ください。</p> <p>NO. 2の大西委員につきましては、香川県市長会の役員の改選により、5月1日付けで御就任いただいております。担当していただく部会は、計画部会と自然環境部会でございます。</p> <p>NO. 3の岡委員につきましては、香川県公立小・中学校女性校長会の役員交代により、5月26日付けで御就任いただいております。担当していただく部会は、計画部会と自然環境部会でございます。</p> <p>NO. 19の中村委員につきましては、香川県各種女性団体協議会の役員交代により6月9日付けで御就任いただいております。担当していただく部会は、計画部会でございます。</p> <p>NO. 28の吉田委員につきましては、香川県商工会議所女性会連合会の役員交代により、6月9日付けで御就任いただいております。担当していただく部会は、計画部会と生活環境部会でございます。</p> <p>また、本日は御都合によりNO. 2の大西委員、NO. 8の栗田委員、NO. 9の白井委員、NO. 11の末永委員、NO. 14の妹尾委員、NO. 16の辻岡委員、NO. 19の中村委員、NO. 21の原委員、NO. 23の松本委員、NO. 24の三野委員、NO. 25の三原委員、NO. 28の吉田委員が、御欠席でございます。</p> <p>したがいまして、本日、御出席いただいております委員は、28名中16名で、香川県環境審議会条例第7条第2項に定められております「委員の2分の1以上の出席」という開会の定足数を満たしておりますことを御報告申し上げます。</p> <p>それでは、これからの議事の進行につきましては、環境審議会条例第7条第</p>

増田会長	<p>1項の規定により、増田会長に議長として議事進行していただきたいと存じます。</p> <p>それでは、私の方で会議を進めますが、議題に入ります前に本審議会運営規程第4条第2項により、本日の会議録に署名していただく委員を指名いたします。</p> <p>常川委員さん、寺林委員さんに、本日の議事録の署名をお願いいたします。 (常川委員、寺林委員了解)</p> <p>これより、議事を進めて参ります。</p> <p>本日の議題は大きく2つです。議題1は、昨年12月に知事から当審議会に諮問を受けました香川県環境基本計画、香川県地球温暖化対策推進計画、香川県廃棄物処理計画、香川県みどりの基本計画の策定についてであります。</p> <p>これらの計画は、昨年12月12日付けで、環境基本計画、地球温暖化対策推進計画及び廃棄物処理計画を計画部会に、みどりの基本計画を自然環境部会に付託し、これまで両部会で審議を重ねてまいりました。</p> <p>そこで、まず各計画(案)の概要について、事務局から説明していただいた後に、各部会長から、審議の状況について御説明いただくこととします。</p> <p>それでは、議題1について、まず、事務局から計画(案)の概要の説明をおねがいします。</p>
事務局	<p>(大山次長より香川県環境基本計画(案)、香川県地球温暖化対策推進計画(案)、香川県廃棄物処理計画(案)の概要を説明)</p> <p>(松下みどり整備課長より香川県みどりの基本計画(案)の概要を説明)</p>
増田会長	<p>ありがとうございました。4つの計画につきまして御説明いただきました。このうち環境基本計画、地球温暖化対策推進計画、廃棄物処理計画の3つの計画につきましては、計画部会で審議してまいりました。その審議経過及び結果について、簡単に私の方から御説明させていただきます。</p> <p>まず、最初にも申し上げましたが、平成26年12月に計画部会に付託されて、第1回目を平成27年1月14日に開催いたしまして次期計画の策定方針、本県の環境行政の現状と課題、各指標の推移等について審議いたしました。</p> <p>2回目は3月19日に開催いたしまして、次期計画の基本目標と施策体系について審議いたしました。</p> <p>3回目が6月2日に開催いたしまして、次期計画の骨子案について御検討いただきました。</p> <p>4回目が8月27日に開催いたしまして、次期計画の素案について審議いただきました。</p> <p>5回目は一昨日ですが11月2日に開催いたしまして、今日御説明いただきました最終案について審議いただきました。</p>

部会では質疑等の他、各委員さんから様々な意見が出されましたが、そのうち主なものを御紹介いたしますと、環境教育をはじめとする人づくり、地域づくりを柱とすることはいい視点である。また、人づくりに重点を置くのであれば、環境の将来像の「人と自然が共生する豊かで美しいかがわ」の前に、主体が私たち（香川県）があることを明確にすべきである。こういう意見が反映されて今日の案になっております。

それから、県民が参加できる省エネの取組みを更に積極的に進めるべきであると。

それから、ただ今御説明がありましたが、3Rということがよく言われますが、リサイクルについては割と理解が進んで浸透しているけれども、リデュースと、リユースはちょっと遅れているところがあると、ですから、3Rと言ってきましたが、そのうちのリデュースとリサイクルの2Rの方を更に積極的に進めるべきであるということで、例えば食品ロスの削減が進むようなそういうリデュース、あるいはビンなどを繰り返し使用できるようなリユース、そういう取組みをまず進めて、それからリサイクルも合わせて進めて行くということをするべきである。それが反映されております。

それから、県政の世論調査で、廃棄物の不法投棄対策について、県民において重要度が非常に高いが満足度が低いという結果になっております。このことを十分踏まえて積極的に対策に取り組むべきだと、ただ、非常に難しい点もあるようですが、監視カメラを増やすとか、そういうことで計画に反映していただいております。

それから、5年後にどうなっているか、できるだけ目に見えるように示すことが重要であるということで、分かり易い経過などをホームページ等で広報するというをさせていただくということで、他にも出しましたが、こうした意見、提案等を踏まえまして、事務局において案の修正を行う等しまして一昨日の部会で最終案が提示されました。

一昨日もいくつか意見が出されまして、部会として最終的には私と事務局に一任いただき、修正いたしまして最終案として今日提示した訳でございます。以上が、計画部会3つの計画についての審議経過と結果でございます。

自然環境部会につきましては、香川県みどりの基本計画の審議をいただきましたので、これについて、金子之史部会長に報告をお願いします。

金子部会長

失礼します。自然環境部会長を務めました金子です。

私から、自然環境部会の審議の経過とその結果について報告したいと思います。

次期の香川県みどりの基本計画の策定については、平成26年12月12日に自然環境部会に付託された後、自然環境部会で計5回に渡って審議してまいりました。第1回目は平成27年1月20日で、次期計画の策定方針や本県のみどりの現状と課題、現計画の指標の推移等について審議いたしました。

	<p>第2回目は3月20日で次期計画の基本目標とか施策体系について、それから第3回目は、6月5日で次期計画の骨子案について、第4回目は8月27日で次期計画の素案をそれぞれ審議いたしました。</p> <p>第5回目は、先程の計画部会と同様で11月2日に開催しまして、部会としての取りまとめをいたしました。</p> <p>部会では質疑の他、各委員さんからいろいろな意見が出されました。</p> <p>主なものを御紹介致しますと、森林整備の推進というときには、人工林だけではなく、もう少し広い視点で考え、広葉樹林が多いということを利用して行けばよいのではないかと。</p> <p>それから、林業の再生に取り組む際には、里山資源の活用のためにその生産基盤や販売ルート、加工や流通を繋げて考えることも重要ではないかと。</p> <p>それから、森づくりの点においては、一方で林業としての担い手の育成とそれへの森林ボランティアがどういう風に関われるかということと、他方では一般の人が自分の家庭や身近なところでみどりを育てましようという視点があるけれども、それは分けて考える必要があるのではないかと。</p> <p>それから、1人当たりの都市公園面積という指標は、県民の触れ合うことのできるみどりということについて、いろいろなものを総合的に見ることになるのではないかと。そういう点でいいのではないかとということです。</p> <p>指標はどの項目を評価しているのか明確にする必要があるので、今回出された指標については、中項目のどれに対応するのか分かるようにした方がよい。</p> <p>情報発信はとても重要なので、しっかりとやって行くという切り口を加えるべきではないかと。</p> <p>環境教育はすでにある分野の名前を付けてしまうと全体像を見失ってしまう恐れがあるので、森林環境教育は森林に関する環境教育の充実で良いのではないかと。</p> <p>こういう風な意見や提案を踏まえまして、先程、事務局の方が御紹介した最終案が出来上がった訳です。</p> <p>それを部会として了承し、決定したということです。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
増田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上4つの計画について、説明、審議経過、結果の報告がありましたが、何か御質問、御意見はございますでしょうか。</p>
寺林委員	<p>細かいところで恐縮ですが、地球温暖化対策推進計画（案）の7ページの一番上のところにあります、「四国の東北部」とあるのは、「北東部」の誤りではないかと。環境基本計画（案）の8ページの上から2行目では「四国の北東部」となっていますので、「北東部」の誤りだと思います。</p> <p>同じく、地球温暖化対策推進計画の44ページの一番上にあります、これは確認したいのですが、「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>削減フェスティバル」はこういうイベントを</p>



	<p>行うのか、それとも「CO<sub>2</sub>」の誤りなのか、どちらでしょうか。</p>
秋山環境政策課長	<p>1点目につきましては、訂正させていただきます。2点目の地球温暖化対策推進計画の44ページについてですが、これが「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub> (コツコツ)」ということで、「CO<sub>2</sub>」を「コツ」と読んで「C<sup>〇</sup>O<sub>2</sub>C<sup>〇</sup>O<sub>2</sub>削減フェスティバル」というイベントを開催しております、こういう表記にしております、誤りではございません。</p>
寺林委員	<p>私、教育者でもありますので、その点を委員の皆さんがどう考えるかどうかですが。</p>
増田会長	<p>これにルビを振るとか、カッコ書きで読み方をいれるとかではどうでしょうか。</p>
岡委員	<p>普通に読めば、「シーオーツーシーオーツー」となるし、今の説明を聞けば、なるほどとなりますので、何か入れた方がいいのではないかと思います。</p>
増田会長	<p>知っている人はいいが、知らない人が見ると印刷ミスと思われるのもいけないので、了解がいただけるのであれば、ルビを振るかカッコ書きで入れるかした方がいいと思います。</p>
事務局	<p>ルビを振るよういたします。</p>
寺林委員	<p>ルビを振るのがいいのか、「CO<sub>2</sub>」は「シーオーツー」なので、これを続けて書くことが教育上いいのかということです。</p>
増田会長	<p>もともと、このフェスティバルの名前は、固有名詞なので、これをやっていたらこれを変えることはできないので、注を付けて「これはこういう意味です」と説明を付けた方がいいのではないかと。</p>
秋山環境政策課長	<p>既に開催しているイベントですので、ルビを付して説明書きとさせていただきますと思います。</p>
寺林委員	<p>コツコツやって来られたのなら、仕方ないかと思います。</p> <p>それでは、最後に、環境基本計画の48ページの4-1生物多様性の保全の○の2番目と4番目に、「行政、企業、民間団体、県民など様々な主体が連携して」、「NPO 法人みんなでつくる自然史博物館・香川」をはじめとした民間団体等と連携し」とありますが、大学、例えば香川大学でも生物の多様性の問題であるとか、その次の52ページの有害鳥獣対策や外来鳥獣対策の問題を研究している者もおりますが、そういう者と県が連携していないのか、そういうこと</p>

<p>小川みどり保 全課長</p>	<p>は書かないということなのか。どちらなのでしょう。</p> <p>御指摘の生物多様性のところ、あるいは有害鳥獣対策につきましても、当然、大学と言いますか学術研究者との連携は、現にやっている部分もあり、ありがたいものであります。</p>
<p>増田会長</p>	<p>これは全部出ているものです。28ページも29ページも全部「県民、事業者、民間団体など」ということになっています。</p>
<p>大山次長</p>	<p>これは、できればこのまま生かしていただいて、ちょっと影響が大きすぎるので、もちろん、大学の方、香川大学に限らずですが、いろんな学術研究されている方のアドバイスをいただきながら進めているということが、本当のところであります。ただ、記載方法のところにもそこまでの統一が計画全般に関わることなので、ちょっとこの書き方は、このまま生かして行かせていただきたいと思えます。</p>
<p>増田会長</p>	<p>大学が無いということではなくて、こういう固有名詞が言葉として出たということだと思えますが。</p>
<p>川田部長</p>	<p>計画全体で各主体が取り組んで、行政以外に、県民、事業者、民間団体というものを大きな区分けでやっています。そこは各項目とも各主体の取組みでそういったものが主なもので、それ以外がある場合は、「など」を付けている場合もあります。それから生物多様性の場合、先程のNPO法人のみんなでつくる自然史博物館かがわというのは、その中核的、中心的な役割をしているので特に記載をしているという意味付けで、一般的にいろんな部分で関わっているのは、区分としてはこういった大きな区分で整理させていただければと思っております。</p>
<p>増田会長</p>	<p>例えば、里海づくりでも、里海づくりの計画の中を見ると研究機関、大学もちゃんと入って部会をつくって物質循環部会とかやっていただくとなってますし、里海づくり協議会の構成メンバーとして香川大学というのも入っております。また、徳島文理大学にも入っていただいておりますが、それからもちろん高校、中学、小学校にもいろんな活動には参加していただくということになっております。</p> <p>寺林先生、大学なり教育研究機関という言葉を入れるかという話ですか。</p>
<p>寺林委員</p>	<p>そうですね。ちょっと厳しい言い方をさせていただきますと、県なり市のこういった事業の時に、どうしても教育機関というのが特別者という扱いを…、ちょっと極端な言い方ですが、そういう表現が多いというのが印象ですので、是非取り入れていただければと思えます。</p>

	<p>他の委員さんの御意見もあると思いますので…。</p>
増田会長	<p>他の委員の方どうでしょうか。</p> <p>是非、大学あるいは研究教育機関みたいなことを文字として入れるべきか、どうかということですが。</p> <p>全体を見た時にこれを書かないと大学が外れるとか、そうはならないのだろうと思いますが、これは基本計画ですけど具体的な個別の計画のところでは実際いろいろとメンバーになってもらって活動していただいているということなので、どうでしょうか皆さんの御意見をお伺いできたらと思います。</p>
多田委員	<p>大学は民間団体とは違うのでしょうか。</p> <p>県民と民間団体と事業者、行政とありますが、事業者に入るのでしょうか。文章の中ではこの4つ「等」というのが表現として多いのでしょうか。「等」で読んだらいいのではないのでしょうか。</p>
増田会長	<p>御意見のない方はどちらでもいいということによろしいでしょうか、もしそうであれば、私の方に一任していただいて…、寺林先生よろしいですか。それでは、会長と事務局の方でもう一度相談させていただきます。</p> <p>実際には、県民総参加と言っていますから大学が国立大学であれ私立大学であれ公立大学であれ、それから高等学校、中学校、小学校等もいろいろ実際の活動をしていただいていますので、基本計画の下にある個別の計画の中では、はっきりと参加していただくということを謳って取り組んでいきますので、外れるということでは決してないということを御理解いただきたいと思います。</p>
久米川委員	<p>CO<sub>2</sub>削減フェスティバルの名前が既に決まっているのであればいけません、私はルビというのは、ちょっとおかしいのではないかと思います。つまり、ルビというのは漢字が難読とかということで付けることで、CO<sub>2</sub>の上にルビを付けるより、カッコ書きか何かで「コツコツ」と書かれた方がいいのではないかと思います。</p>
増田会長	<p>実は私もそっちなかと思って申し上げましたが…</p>
秋山環境政策課長	<p>イベントのチラシ等では上にコツコツとルビを振った形になっていますが、先程御指摘があったような記載方法でも可能かと思えます。</p>
増田会長	<p>実際のイベントでもルビを振っているのであれば、ルビでいいと思います。</p> <p>それになお且つ、みんなでコツコツやって行きましょうという意味でこういうのにしたという、ちょっとした注なりコメントを付ければ、より親切かとは思えます。</p>

川田部長	<p>実際のイベントは県も少しは関わっていますが、中心になっているのは別の団体なので、団体とも相談させていただきます。</p>
増田会長	<p>イベントの正式名称があればそれで、ルビがあればあったで付けていただいて、なお且つ、それを知らない人、疑問を持つ人があれば、注かコメントを付けて趣旨を付記してはどうかと思います。</p> <p>これも、私と事務局の方で最終的に調整させていただけたらと思います。</p> <p>他に御意見、御質問ございますでしょうか。</p>
常川委員	<p>環境基本計画の76ページの数値目標は、今回新しく入った項目はどこでしょうか教えてもらいたいのと、数値はある程度見通しを持っているものかどうか少し気になりました。</p> <p>具体的に例を出すと里海大学修了者は0から900人になっており、結構な人数設定だと思いますが、今環境の分野は取り組む人が少ないというか、いつも同じ顔触れというのが多くて、なかなか人材の育成が難しいと日々思っていますが、その中で、環境分野に特化せずにある程度チャレンジする数値設定をするのなら、例えば観光とか国際とか移住とか他分野との連携とか連動がないと、なかなか目標達成難しいのではないかと考えており、ちょっとその辺りのすり合わせがあるのかどうかを聞きたかった。</p>
大山次長	<p>御質問の1点目の新規の指標ですが、例えば76ページですと、先程私方から、重点的に取組むものには新たな指標を設けるなどと説明申し上げましたが、まず、環境教育、人づくりの部分は重点的に取組むということで、例えば、1の環境学習応援団団体数が新規指標ですし、2の「さぬきっ子環境スタディ」の小中学校での活用率、これも新規指標です。4のかがわ里海大学の修了者数も新規指標ですし、5、6の水生生物及び海ごみ調査の参加者数、県内一斉海ごみクリーン作戦参加者数も新規指標です。新規指標が18くらいあったと思いますが、後は省略させていただきます。</p> <p>次に、目標設定の雰囲気としては、ある程度、計画としてこのくらい行けそうだというものもありますし、実は、例えば先程申し上げました「さぬきっ子環境スタディ」の小中学校での活用率は、今は小学校で86%、中学校で68.9%ですが、行けるかどうかは分かりませんが、目標としては全部の学校で使っていただくようにということで、また、目標であるべきと考えて、思い切って考え方としてこうなったという目標設定をしたものもあります。</p> <p>それと、例えば里海大学の修了者数は、御案内のとおり里海大学のこれ、正に今、中身の制度設計をしている最中で、本当に目標設定としてこれがいいのかどうか100%は分からない部分もありますが、今の段階の議論としては、里海大学で一般講座、つまり一般的に県民の方が誰でもという風な一般講座と、ガイド、専門的にやっていただくような方を養成する専門講座の大きく2種類を考えて、今年度もある程度予備的にやっているものもあることから、だい</p>

増田会長	<p>たいこれくらいの需要動向なのではないかということで、1年当たりを考えますと、専門講座は20人程度の修了なのではないか、一般講座は160人程度、合わせて180人だから5年間で900人くらいかなという感じで目標設定をさせていただいております。</p> <p>最後に、連携につきましては、例えば里海については途中段階なので、そこまで突っ込んで考えた内容ではありません。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>かがわ里海大学の方は、実は、里海づくり協議会というところで、ワーキングでずっと研究してきましたが、できたところからスタートしようということで、だんだん拡充して行こうということで、一つは、そこにある専門講座については、ある程度のプロというか資格を持った人を養成して行こうというもので、ガイドプログラムというのが動いているんですが、どんなものが可能か今検討しているところですが、一般講座は大学で言うと1科目取るという感じで何回か講義を聞いていただいて修了という形だと、数十人単位で1回来てくれるかなというイメージで、里海大学（仮称）は、大学とはちょっと違う、里海に対していろんな資格を持った人を育てていくと同時に、一般的な理解も深めていこうというそんな形の目標であると御理解いただければと思います。</p> <p>他にどうでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。それでは今御意見いただきました、用語の問題、標記の問題等ございますが、最終的には私と事務局に一任いただければと思います。</p> <p>それで、知事に答申いたしますが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
増田会長	<p>それでは議題2に移りまして、各部会の審議状況について事務局から御説明をお願いします。</p>
事務局（秋山環境政策課長）	<p>各部会の審議状況について御報告申し上げます。</p> <p>部会における決議は、会長の同意を得て審議会の決議とすることができるとされており、会長がこの同意をしたときは、審議会に報告することと定められております。平成26年9月2日開催の第34回環境審議会以降、会長が同意した案件の審議内容について、報告するものです。</p> <p>資料5に各部会の審議状況についてまとめております。計画部会については、5回開催いたしておりますが、先程、増田会長から御説明いただいた3つの計画の審議以外の案件はございませんでしたので、説明を省略させていただきます。</p>

<p>(壺井環境管理課長)</p>	<p>(生活環境部会の審議状況について、資料5 5ページを説明)</p>
<p>(小川みどり保全課長)</p>	<p>(自然環境部会の審議状況について 資料5 6ページ、7ページを説明)</p>
<p>(井上薬務感染症対策課副課長)</p>	<p>(温泉部会の審議状況について 資料5 8ページ、9ページを説明)</p>
<p>増田会長</p>	<p>以上、各部会から報告事項について報告がありました。何か御質問がありますでしょうか。</p> <p>特に御質問がないようですので、以上で本日予定されていた議事を終了したいと思います。</p>
<p>司会 (豊島副課長)</p>	<p>それでは、最後に川田部長からお礼の御挨拶を申し上げます。</p>
<p>川田部長</p>	<p>(部長お礼のあいさつ)</p>
<p>司会 (豊島副課長)</p>	<p>それでは、以上で、第35回香川県環境審議会を終了します。 本日は、長時間に渡りありがとうございました。</p>